



SAKURADAMONGAI NO HEN

大沢たかお

長谷川京子 柄本明 生瀬勝久 加藤清史郎

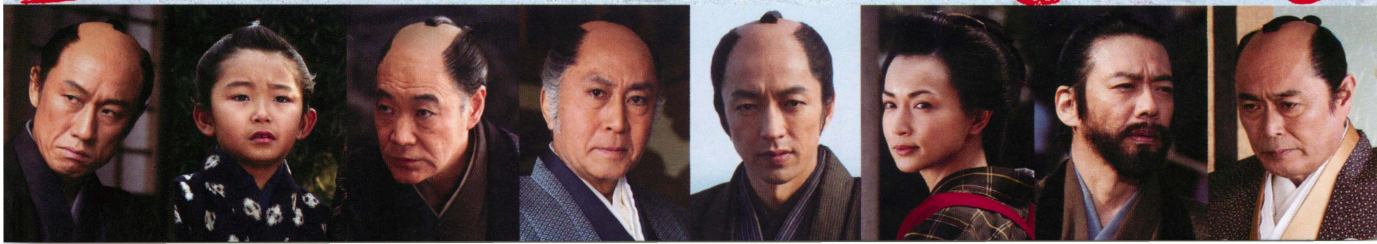
西村雅彦 伊武雅刀/北大路欣也

原作/「桜田門外ノ変」吉村昭(新潮文庫刊) 脚本/江良至・佐藤純彌 監督/佐藤純彌  
協賛/社団法人 いばらき映像文化振興協会 協力/「桜田門外ノ変」映画化支援の会・茨城県・水戸市  
配給/東映 ©2010「桜田門外ノ変」製作委員会 | NOT FOR SALE | 100% 3D

www.sakuradamon.com

10月16日公開

日本の未来を変えた、歴史的な大事件。





今、何故「桜田門外ノ変」なのか。

明治の新政府が確立するわずか8年前に起こった「桜田門外ノ変」。この事件が、幕末の歴史の動きに大きな影響を与えたことは紛れもない事実である。黒船来襲、太平洋戦争を経て、資本のグローバリズムの波が否応なく日本を襲い、国際関係の中で日本の立つべき位置を、今、我々は問われている。このような時代に最初の開国の歴史を、そしてその中でもタブーだった「桜田門外ノ変」を、奇しくもこの事件からちょうど150年目に当たる今年こそ見つめ直す必要があるのではないだろうか。

『男たちの大和』の佐藤純彌監督が挑む、幕末の真相  
開国を推し進めていた大老・井伊直弼を、尊王攘夷へと傾いていった水戸の浪士たちが打ち倒したこの事件は、後に幕末の表舞台へ立っていく志士たちに大きな衝撃を与えた。本作は、吉村昭の同名小説を原作に、襲撃の指揮を執った水戸藩士・関鉄之介をはじめとする襲撃者たちの、志を胸に事件へと至った過程、そして逃亡の果てに迎える運命を描いた壮大な歴史時代劇大作である。

# 暗殺

大老・井伊直弼  
元六十年三月三日



世の中を変えなければ、  
日本は滅びる。

水戸・薩摩藩士  
襲撃実行部隊  
総勢22名



10月16日(土) 全国ロードショー